



チーフストラテジスト 瀧山裕二の Weekly Letter

第9回「金融リテラシー」

最近、「金融リテラシー」という言葉をお聞きになった方が多いと思いますが、いったい何のことなのだろうかと思われる方もいらっしゃると思います。今週は、「金融リテラシー」についてお伝えしたいと思います。

～金融リテラシーとは～

「金融リテラシー」とは、金融やお金に関する知識や判断力のことを指します。「人生100年時代」といわれる昨今、長い人生を自分らしく豊かに暮らしていくためには、お金と上手に付き合うための知識や判断力が重要になります。金融に対する知識や利用の仕方などを皆さんに学んでもらうことで、無理のない金融資産の形成や金融トラブルからの回避などができます。わが国では日本銀行に事務局を置く「金融広報中央委員会」が「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」の側面から金融知識の普及を推進しています。その活動の一環として個人の「金融リテラシー」の現状を把握することを目的としたアンケート調査を2016年から3年おきに実施してきました。アンケート内容は「金融知識・判断力」に関する正誤問題と「行動特性・考え方等」といった金融リテラシーに関する53問で構成されています。直近実施された2022年の調査では、①金融リテラシーの正誤問題の正答率は全体で55.7%と過去2回の調査とほぼ横ばい、②金融教育を受けたと認識している人の割合は7.1%にとどまっており、71.8%の人が「金融教育を行うべきと思う」と回答、③正答率の高い人には金融トラブル経験者の割合が低い傾向がみられるなどの結果となりました。

～投資に関するリテラシー～

ただ、このアンケート調査の設問の中に少し疑問に思うものがありました。投資行動を問う以下の設問です。

10万円を投資すると、半々の確率で2万円の値上がり益か、1万円の値下がり損のいずれかが発生するとします。あなたなら、どうしますか。（1つだけ選択）

1、投資する 2、投資しない

この設問は確率論でいう期待値の設問です。

2万円得する確率が50%、1万円損する確率が50%の場合の期待値は

$$2万円 \times 0.5 + (-1万円) \times 0.5 = 1万円 + (-5千円) = 5千円 \text{ (期待値)}$$

5千円がえられる期待がある投資を行うかどうかという設問ですが、「1、投資する」と答えた人が25.9%、「2、投資しない」と答えた人が74.2%でした。

この回答状況をもって金融知識が欠如していると判断される向きもあるようですが、その判断に私は疑問があります。投資を行う時は、資金の性格（余裕資金か否か）、投資期間、投資環境（国、業界、会社の経済状況）、利回りなどいろいろな要素を勘案したうえで投資するかどうかを決定すると思いますが、上記のような期待値が5%（投資資金10万円で5千円得られる）という条件提示だけで投資するかどうかを問われたら多くの人は「2、投資しない」と回答すると思います。この設問では、投資は短期的なものだという観念を一般の人に植え付けかねない設問であるとも思います。30年余り続いたデフレ経済が預貯金至上主義を招き、国民の資産運用に対する考え方を委縮させたことがこのような結果に表れていると思います。2月22日の国会で、植田日本銀行総裁は日本経済について「デフレではなくインフレの状態にある」と答弁をされました。賃金上昇を伴う適度なインフレ状況が継続するよう政府・日銀はあらゆる手を尽くしてほしいと思います。

そのような状況になれば国民の金融リテラシーは一層向上すると思いますが如何でしょうか？

<ご参考>

「金融リテラシー調査（2022年）の結果」が金融広報中央委員会の以下のURLでご覧になれます。

[金融リテラシー調査（2022年）（shiruporuto.jp）](https://www.shiruporuto.jp/)

この資料の31ページに金融リテラシークイズ（全部で5問）がありますので、皆さん挑戦してみてください。

（答えは32ページにあります）